



令和7(2025)年

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

8月 保育園だより

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

セミの鳴き声と軒先で揺れる風鈴の音が、真夏を感じさせます。

あまりの暑さから活動が制限されてしまいますが、暑さ対策を行いながら、夏ならではの体験ができるよう関わってまいります。

また、夏の疲れが出やすくなります。熱中症に配慮しながら、普段よりもしっかりと休息を取り「早寝、早起き」「一日3食を摂る」「十分な睡眠を摂る」など健康的な生活を送り、元気でお盆を迎えましょう。



今月の行事予定

1(金)	交通指導 <small>毎月1日、15日は年齢に適した交通ルールを学びます</small>	21(木)	イングリッシュタイム 9:30～ ルーカス先生(4,5歳児)
4(月)	フレンズタイム <small>歌に合わせて「あいうべ体操」や「足元気体操」「ラジオ体操」をして健康増進と異年齢交流を図ります。</small>	22(金)	同窓会 10歳のつどい 三日市保育所にて
5(火)	同窓会 1年生のつどい	25(月)	フレンズタイム 命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ <small>当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。</small>
11(月)	🇯🇵 山の日	27(火)	※感謝の日 3園合同研修会 18:00～ 陶芸教室 (5歳児)
12(火)	フレンズタイム	28(木)	子育てサポーター シニアサロン 9:30～
15(金)	交通指導 食ロス使い切りの日(30日)	29(金)	随時布団持ち帰り <small>シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。</small>
17(日)	あいじ家庭の日(至23日)		9月の行事予定
18(月)	フレンズタイム 避難訓練 身体測定(至22日)	1(月)	ウエス回収 (至5日)
		6(土)	保護者会役員会・ウエス整理

2025年10月4日(土) 黒部市総合体育センター アリーナにて
黒部愛児保育園 心れあい運動会を予定しています。詳細は後日お知らせします。

保育・教育

保育所保育指針にある“食を営む力の基礎を培う”ために、日々の生活の中で子ども達が食に関わる体験をしています。今回はその様子をお伝えします。



0歳児 ひよこ組

食事の配膳を始めると「まんま～」と食べたい気持ちを表します。盛り付けたお皿を差しだすやいなや嬉しそうに手で掴み頬張ります。保育者の「おいしいね」「もぐもぐ」の声かけに対し笑顔で返します。食前の挨拶は、たべたい気持ちが先に立ちまならないこともあります。お腹が満たされた後は、両手をあわせて“ごちそうさまでした”と手を合わせます。“食べるって楽しいね”を基本に日々経験していくことを大切にしています。



2歳児 うさぎ組

ある日の食事時間。Aちゃんは苦手な食材きゅうりを見て首を横にして“食べたくない”素振を見せました。そんなAちゃんをみてBちゃんが「B、きゅうり好き。ほら、(きゅうり噛んだら) ぼりぼりって言う」保育者「そうだね。いい音が聞こえる」そんなやり取りを聞いていたAちゃんは自分も褒めてほしくて一口かじってみました。それをみたBちゃんは「すごーい！食べれたね」と手をたたいて自分のことのように喜んでくれました。後日、「いぬ組が収穫したきゅうりだよ」「くま組さんが皮むきしたトウモロコシだよ」と伝えるとあこがれのお兄ちゃんお姉ちゃんの野菜という気持ちで食べてみようとしています。

今後も苦手な食材を少しでも食べられるように友達や異年齢の姿から刺激を受けて食育につながればと願っています。



4歳児 くま組

毎食時、保育者と調理師が連携し、食事のマナーについて子ども達に知らせています。食器の置き方、正しい姿勢、箸の持ち方など、写真やイラストを用いて視覚でわかりやすい工夫をしています。様々なマナーの一つに、『主食、主菜、副菜を順に食べる』ということがあります。4歳児に進級したての頃は、好みの物ばかりを先に食べ、主食(ご飯)のみが残ってしまい食べにくそうな姿が見られました。保「ご飯→汁物→おかずのように少しずつ順番に食べれば最後にご飯だけが残らないよ」と知らせると、Ⓜ「ちょっとずつ交替して食べるんだっ！次は〇〇」と意識する姿が増えていきます。暑い夏は特に、主食よりも汁物やおかずの方が食べやすく進みがちですが、主食も全て偏り無く食べることで強く元気な体が作られるということを今後も伝えながら関わってまいります。



1歳児 りす組

手遊び歌「やさいのうた」や絵本「やさいさん」「おべんとうバス」など、歌をうたったり、子ども達が楽しんで食材やメニューに興味をもてるようにしています。その中で、「トマトさんといっしょ!」「ブロッコリーくん あった!」と、皿の中の食材を手にとったり、保「きゅうり食べたら、どんな音がするかな?」と伝えると、「コリコリした!」「〇〇も(食べる)」と、耳を傾けたり、保「どんな、においかな?」と、皿に鼻を近づけて香りを確かめます。今後もいろいろな食材やメニューに興味を持てるように工夫し関わっていきます。



3歳児 いぬ組

5月より学び野できゅうりの栽培を始めました。「きゅうりの赤ちゃん、大きくなってね」と水やりをしたり、草取りをしたり。初収穫をして“塩もみ”も体験し、「美味しくな～れ」とたくさん声を掛けてきました。日々のお世話できゅうりへの愛着もわき、昼食できゅうりが出ると「いぬ組さんのきゅうり美味しい!」と喜んで食べたり、苦手意識がある子も「少し食べてみる」と口にしています。自分たちのきゅうり。という思い、そして収穫することを楽しみ、採れたての旬の野菜を味わうことから食べる喜び、食べてみようという意欲が育まれていることを嬉しく思います。



5歳児 らいおん組

学び野でじゃがいもや赤しそ、青しその栽培を通して「育てて、作って、食べる」体験をしています。じゃがいもの皮むきでは、手先の動きや集中力を必要とします。また、「じゃがいもの皮むきって、こんなに大変!!」「作ってもらったら、ありがとうって言う!」と感謝の気持ちが芽生えました。赤しそのジュース作りでは、あーよ図書館で、作り方や材料を調べるために本を借りてきました。酢を入れると色が変わり、感激していましたが味の方は「なんか、まずい」「でも、体が元気になるそう」と味わっていただきました。育てた物がどうやって食べるものになるのかが実感でき、食への理解が深まりました。今後も、子ども達の「食べる力」を育む工夫をしてまいります。